

キャンパス内の落ち葉を使って学生が作った堆肥「けやきの子」 震災後始めて、地域住民への頒布会が復活します。 8月8日・9日@西千葉キャンパス

千葉大学環境ISO学生委員会では、震災以降中止していた落ち葉堆肥の頒布会を、本年度再開することとなりました。8月8日(土)・9日(日)に行います。

■落ち葉堆肥「けやきの子」とは

千葉大学のキャンパス内には多くの樹木が生えており、毎年大量の落ち葉がごみとして廃棄、処理されています。環境ISO学生委員会では、地元の環境NPOである「NPO法人環境ネット」から技術的な指導を受け、2006年度より構内の落ち葉の一部を堆肥化し、「けやきの子」という名称で、地域住民に頒布することで資源の有効利用に貢献してきましたが、東日本大震災以後は原発事故の影響により頒布を自粛していました。



■震災後初めて国の許可がおりて頒布再開が実現

環境ISO学生委員会では、震災後、地域住民への頒布は中止していたものの、堆肥作製技術の継承のため毎年、少量の堆肥を作製してきました。そして、2013年12月に落ち葉の腐葉土に含まれる放射線量を測定したところ、農林水産省の定める基準(400ベクレル/kg)を下回っていました。その翌年に作製した堆肥についても、2015年2月に放射線量調査を行ったところ、基準を大幅に下回っていることがわかりました。そこで、千葉県を通じて農林水産省に申請し、許可がおりたため、今年から頒布会を再開することになりました。



■「けやきの子」頒布会概要

日時：8月8日(土)・9日(日) 10:00~15:00

場所：千葉大学西千葉キャンパス 北門周辺

数量：3kg入り9袋、10kg入り45袋

注文方法：お名前・お住まいの地域・電話番号・ご希望の受取日時と数・交通手段について、環境ISO事務局までご連絡ください。

TEL:043-290-3572 (平日9時~17時)

メール：kankyo-iso@office.chiba-u.jp

※先着順でなくなり次第終了

※当日、寄付金を募っております(1口50円)。3kg袋1口以上、10kg以上3口以上。寄付金は千葉大の環境活動に活用いたします。

■千葉大学環境ISO学生委員会とは

2003年千葉大学においてISO14001認証取得への動きが始まるとともに発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内の研修講師、目的目標実施計画の原案作成、内部監査、外部審査対応、環境報告書作成、省工本省資源・緑化・堆肥化等の活動、地域との連携、学内への啓発活動などを担当。西千葉・亥鼻、松戸・柏の葉地区に分かれて活動。2009年NPO法人化。所属学生：187名(2014年)、指導教員は倉阪秀史(千葉大学法政経学部教授)

